

水郷佐原の街並みを歩く 参加者評価

○実施日 2017年1月7日（土）10時頃から18時頃

○企画概要：佐原は関東では川越、栃木と並ぶ歴史的町並みを誇る都市であり、小野川沿いと香取街道を中心に伝統的商家群が残り、それら建物の保存活用が大胆な形で進められています。伊能忠敬先生の縁の地でもあり、話題には事欠きません。teku・tekuでは今までに2回訪問していると思いますが、最近では、街並みを活かした観光地として、新たな投資が行われています。東日本大震災では建物被害も受けましたが、再起を図っております。佐原を再訪し、佐原を評価していただきたいと思っております。

○コース：佐原駅～小野川沿い重要伝統的建造物群保存地区～香取街道沿い重要伝統建造物群保存地区～東薫酒造～伊能忠旧宅～水郷佐原山車会館～諏訪神社～佐原駅
昼食：いなえ（香取街道沿い）、懇親会：ワーズワース（小野川沿い）

○参加者 10人

井手幸人、上野朋子、栗原徹、鈴木丞治、野中るみ子、原久子、古里実、水谷晴子
コーディネーター 梶川義実

1. 良かったところ

○全般

- ・ 駅から歩ける範囲で昔の街並みを見ることができること。
- ・ 観光地にありがちな、ありきたりのお土産屋さんがないこと。とても美味しい
- ・ 「もなか（柏屋）」、「みりん」、「ごま油」があること。（この3つを買いにいくだけでも価値がある。
- ・ 古い家を活用したイタリアンやフレンチ・レストランがとてもおしゃれに馴染んでいること。
- ・ 建物の更新が部材の色でわかり（更新した材料等が古色塗りがされていないところ）、街のアクセントとなっているところ。
- ・ 船で観光できる場所。
- ・ 町家の景観と観光観光していない店舗
- ・ 佐原町並み交流館の金庫内に展示されていたビフォーアフターの建物の写真は、地元の人の努力が凝縮されているようで、おもしろかった。

○小野川沿いの修景された建物群

- ・ 前回訪れた時よりも着実に増え、良くなっている。地元の方も使っているレストランが良い。
- ・ 緩やかに蛇行する小野川と両側に伝統的建造物が連なる景観はとても素晴らしい。炬燵付きの舟も楽しそうだった。
- ・ 小野川沿いの風景：一つ一つの家が、完成度が高く保存されている。和風のデザインが美しい。
- ・ 水がある景観が良い。
- ・ のんびりと歩けるように休日の日中からでも車の進入を止めてもらえると、さらにより良い。
- ・ 歴史的を感じさせる風景、屋根の高さが揃った景観、親水性など

○伊能忠敬記念館

- ・伊能忠敬の業績とすごさがよくわかり、展示されている伊能図も非常に美しい。
- ・伊能忠敬記念館と旧宅：伊能忠敬の生い立ちと功績が、わかりやすく展示されていた。
- ・旧宅もそのまま残っており、とても清々しい空間だった。

○佐原まちぐるみ博物館

- ・そこここでこの看板を見かけた。修景された建物が増えてきているのも、こうした取組が流れを作っているのではないかと感じた。

○山車蔵

- ・町中にさりげなくあるところが良かったです。山車蔵ということがわかる表示と中を伺える展示、他にどこにあるかがわかるともっと楽しい（山車蔵めぐりとか・・）。

○さわらぼ1号店・やまゆ

- ・空家活用実験を経て地元の高校0Gが出店していること。獅子舞の提供も地元の方、観光客ともにとても素敵なおもてなしになっていた。
- ・獅子舞が見られたのが良かった

○しゅはり一級建築事務所

- ・古民家の再生を自らに事務所で実践している。

○諏訪神社

- ・一気に登ることに青春を感じさせるあの直接階段が良い。
- ・諏訪神社の参道の階段：急な階段だったが、周りの木々と日の丸と静かな美しい景色だった。

○馬場本店

- ・酒蔵の煙突や施設を少しずつ修景整備している。
- ・みりんが有名な酒蔵で、通りから中に入ると建物と石畳の空間が美しい。耐震改修した煉瓦の煙突はなかなかの迫力。

○東薫酒造

- ・造り酒屋の仕込みの場所に入ったことがなかったので、興味深かった。司会者が上手だった（ほとんど「叶」の宣伝だったが。）もう少し、酒づくりの話も聞いてみたかった。最近は、どこもビデオの説明が多いが、やはり生身の人間の説明は、ビデオよりも強く印象に残る。

○柏屋もなか店

- ・一口大のもなかを食べやすく美味しい。お土産に最適。

○いなえ

- ・通りから見ると普通の町家のようなだが、中に入るとセンスの良い空間が広がる。昼食のうどんも美味しかった。
- ・建物や庭のしつらえも素敵だったし、料理も美味しかった。

○ワーズワース

- ・小野川沿いの古民家を再生したレストランで夜景がきれい。どの料理もとても美味しかった。
- ・どの料理も美味しかったし、お店の雰囲気も良かった。

○小野川沿いのフレンチのお店（夢路庵）

- ・入り口部分のみしか見ていないが、とっても良い風情があった。食べたかった。

2. 不満だったところ、残念だったところ

●佐原駅とその周辺

- ・駅舎の和のデザインは素晴らしいのだが、天井の木は残念ながら新建材に見える。
- ・駅と駅前広場が立派なのに、周りに商店などが何も無いのは異様な感じ。
- ・駅から重伝建エリアへのつながりがない、歩いて楽しいコースがない
- ・駅前から小野川沿いの景観が感じられる何かのしかけがあると良い。しかし、駅前に小野川沿いの場所があることを示す看板とかあったでしょうか？

●小野川の観光船、景観

- ・乗れなかったのも残念だったが、金額が少々高額なこと、乗るために別の場所でチケットの購入が必要なこと。できれば、ふらっと歩いていて、水辺に下りてそのまま乗れるバスのようになっていると嬉しい。
- ・金額も短い距離ならワンコイン（500円）のコースがあっても良い。
- ・整理券方式のバスのように初乗り500円、長く乗ったら〇〇円とすると、つつい長く乗ってそんな気がする。
- ・船をもう少し装飾（？）をして非日常の雰囲気があるといいかと思う。
- ・船の乗り場がよくわからない。目玉としてもっとPRしても良いと思う。
- ・水辺に向いて座れる場所がない。

●カメラの三越

- ・今にも崩れそうなので景観的に良くない。いくら、川周辺をきれいにしても目立つ。お金がかかるが、まずは壊して更地にしたほうがよい。廃墟が残っているのは、不安な気持ちにさせる。
- ・小野川沿いの建物なのになぜ活用できないのか。危険。

●大型観光バス対応にシフトする酒蔵

- ・是非小グループの観光客にも気を配って欲しい。

●香取街道

- ・道路沿いの街並みはとても良いのだが、交通量が多いので安心して歩けない。

●情報提供

- ・半日は伝建地区で楽しくまち歩きや、船乗り等楽しめるが、それを超えると時間を持て余す。
- ・建物の見どころマップのようなものが、あると良い（茨城県桜川市真壁地区のマップが良くできていたので・・・）。
- ・有料（20円）の観光マップには金額が明記されていない。また、なくなった店などがマーカーで消されている状態でさびれた感が漂っている。

●店舗

- ・重伝建エリア：30歳くらいの若者店主パワーを感じるお店が少ない（やまゆは別）。
- ・大人数（10名）での入れるカフェがあると良かった。
- ・佐原の特産物を食べたかった。
- ・広場がない、高校生がいられる場所がない

3. 佐原をもっと良くするための提案（いくつでも）

（１）全般

○リピーターをつくる観光を目指す

- ・佐原は観光を目指すべきだろうが、観光バスで大挙して来るような観光客ではなく、毎年あるいは年に数回訪れるリピーター型の観光客をターゲットにした方が良いと思う。来た人を丁寧にもてなし、佐原に愛着を持つ人を徐々に増やしてゆけるような、新しいタイプの観光を創り出せると面白い。

○やる気のある人を発掘する

- ・既に街のあちこちにセンスの良い店があるので、そういった人たちのネットワークから新たな人材を発掘できないだろうか。

○地元の方のコミュニティビジネスと観光ビジネスを融合した取組を増やす

歩いていたり、自転車に乗っている地域の人にちょっとおしゃれな感じの人がいたり、普通の住宅の窓辺の空間が素敵だったりしたので、たくさんの資源を持っている地域ではないかと感じた。栄えたことがある地域特有の楽しむことを知っている人が多いのではないか。

○地元の人ともっと触れ合える仕掛けをつくる

風景やお土産だけでは、観光地としては他にも似たような地域がある。今後は、何か験をでき、地元の人とも会話できるような仕掛けがあると、差別化が図れると思う。

○佐原に来やすくする

都心からの時間距離と費用距離を考えても日帰りでちょっと楽しめる立地を活かし、水辺でのんびりして、地域の食べ物を買って、美味しいご飯を食べて、気持ちよいお風呂に入るようなコース設定ができれば良いと思う。夕飯もリーズナブルな金額でとても美味しかったので使える資源と思いました。

京急のまぐろ切符のような設定が東京駅からのバスなどでできないか。

http://www.keikyu.co.jp/information/otoku/otoku_maguro/

○街中の周遊ルートを作る

- ・駅前に観光バスの無料駐車場を整備し、酒蔵に直接来ていた観光バスを駅前に誘導し駅前で人を下ろしてもらって、ぐるっとまわって酒蔵横の駐車場で拾ってもらうようなルート整備ができれば人の流れが増える。東薫酒造でも地域の色々なものを販売していたが、駅前の広い場所になるともっと買いたくなると思う。
- ・東薫と馬場本店を連携させる（今はそれぞれがやっている感じ）。
- ・周辺エリアを含めて歩くコース充実する。
- ・水郷エリアを含めてのサイクリングコースの提案（レンタルサイクルのお店があったが元気がない）。
- ・香取神宮まで以外と遠いので、駅前の空いた空き地に目立つようにレンタサイクル置き場を作り、自転車 でまわれるとよい。

（２）小野川の活用

- ・小野川の水運を活かす観光用船便の充実を図る。利根川にも出たい。
- ・小野川沿いだけでなく、旧市街地の回遊コースを整備する。
- ・ちょっとだけ乗ってみたい人のために、片道コースがあるとよい。
- ・利根川近くで下船できるところと、休憩スペース。そこから歩いて伝建地区に帰るコースがあるよい。
- ・安い料金で、短時間で良いので、船に乗りやすくする（例えば、駅近くから忠敬橋まで 200 円で乗れるという設定にする）。
- ・川から見た風景は、他の似たような観光地では得られない体験であり、佐原のイメージ UP に大いに貢献できる。

（３）歩行空間の整備

- ・香取街道を歩行者専用にするのは難しいだろうが、せめて小野川沿いの道路については土日の車の乗り入れを制限した方がよいと思う。
- ・土日の 11 時～15 時だけでも、車を迂回させて歩行者専用にしてはどうか。

（４）地域製品の改善、食文化の発信

- ・油とみりんは瓶が重いので、ペットボトルだと嬉しい。
- ・佐原の特産を食べさせてくれる飲食店があると良いと思った。あるいは、貸しキッチンスペースで地元の食材を買い込み料理ができるスペース＆それを食べられるスペースなども。
- ・佐原のお祭り以外に人を集める企画（地区ごとの活性化も含めた）として、春頃に、歩くコースを設定し地区毎のポイントに佐原の春の食材を使った料理を置く、参加者は参加費を支払い食べて・飲んで佐原の春を歩き、歩いた後に各地区の料理に対し投票する（地区ごとで競う B 級グルメ大会）。1 位になった地区の食材は、1 年間その地区の食堂で食べられるようにする。

4. 佐原駅近くの空地（清見屋跡地）はどのように活用すべきか

○測量体験公園

- ・思いつきで恐縮だが、「測量体験公園」などどうか。内容は、実際に測量を体験できる（正解だと謎が解ける）。
- ・その公園を出発し、町中を含めて歩かせる仕掛けをつくる（スタンプラリーとか、謎解きとか）。
- ・また、別の効果として、地元の高齢者の健康維持につながる。

○佐原の特産が食べられる仮設店舗＋10 年後に出来上がるモニュメント

- ・ガウディーのサクラダファミリアのように 10 年後に完成するモニュメントを市民、観光客の手で作ってあげていくしかけ）
- ・広場的、中庭の多くある容積率の低い、低層、重伝建エリアとつながりのあるように整備地元の方のコミュニティビジネスと観光ビジネスを融合した取組を行う場所として整備。
- ・無理やり箱ものを作っても維持管理の費用がかかるので、仮設かテントで当面 10 分だと思ふ。駐車場、レンタサイクル置き場、・テントで土日だけの青空市場、公園、緑地、お花畑、地元の方、観光客が植樹できる（一株を購入植樹）スペースにする。

○地元高校生が来られる広場【参考 岩手県紫波の駅前施設：高校生の図書館や音楽スタジオ 高齢者も高校生も同席していたのがおもしろい】

- ・意外とまちのなかには高校生や若者の居場所がない。高校生は、どこエリアでも口をそろえて居場所はイオン・・・それでいいのか。まちづくりに参加してくるのは、商工会や自治会のおじさん、おばさん・・・それでいいのか？
- ・山形県の山寺では高校生の声でライトアップがされるようになり、縁切りうわさの山寺がいつのまにか縁結びお守りが売られるようになりました。去年は会津若松駅前、来年度は岩手県岩泉高校の生徒たちと「まちを考える」をやる予定。

※私ごとですが、友人と「まちづくりは、次の時代を担う高校生の考えを入れてほしいな」と思い「高校生の考えるまちづくりのワークショップ」のファシリテーターをやっています。10年前にお手伝いした新居浜駅前とホールは昨年できました。計画案にあった高層ビルが中止になり当時の高校生の意見(ライブができる、祭りを感ずる、走りまわれる芝生広場など)をたくさん取り入れてくれ、オープニングの日に当時の模型や、街のキーワード展示、高校生考えたまちの公開プレゼンの場も設けてくれました。10年前の計画づくりに参加してくれた高校生は27歳になり、まちづくりの仕事をしている人も。

●コーディネーターより

最近、高校同窓会の関係で佐原とのかかわりが深くなりました。地元出身なので、どうしてもひいき目に見てしまいますので、皆様の「外からの目」を大切にしたいと思っております。今回の皆様の提案は、同窓会のチャンネルを使って地元経済界や行政に伝えます。参加した方も、参加できなかった方も、佐原を訪れ、味わってください。新たな発見があるはずです。



街並みをイメージするような駅舎に建て替えられた佐原駅
(別の日に撮影)



空き店舗を改修した「やまゆ」での獅子舞



商店街には正月らしい花飾りがなされている
(柏屋もなか店)



香取街道沿いの「いなえ」。街道沿いは商家
建築だが、中庭には洋風の建物がある。



八坂神社境内のある山車会館では
実物の山車を見ることができる。



秋祭りの山車蔵が並んでいるが、
表示がなく勿体ないとも言える



みりんでは有名な馬場本店は震災で傷んだ倉庫を改修した。今後の活用が待たれるところ。



馬場本店とは対照的に東薫酒造は観光バスを誘致し、蔵を見せることで佐原の集客に寄与しているともいえる。



秋のお祭りは、新宿地区の諏訪神社の祭礼。



小野川沿いのイタリアン「ワーズワース」。予約しないと入れない人気店。地元の食材をふんだんに使っている。